

チェコ共和国の国樹、ボダイジュを育ててみよう

種から若木までの長い道のり



ボダイジュは、最北端と最南端を除くヨーロッパ全域に分布している落葉広葉樹です。チェコ共和国には、より一般的である葉の小さいフコボダイジュ (*Tilia cordata* Mill.) と、葉の大きいナツボダイジュ (*Tilia platyphyllos* Scop.) の 2 種類があります。チェコの林業におけるボダイジュの重要性はかなり低く、樹種構成に占める割合はわずか 1 % 程度であり、主に河畔林や岩場の急斜面に混植されています。

一方、景観緑地においては重要な樹木であり、道路沿いや公園などでよく使われています。樹冠と茎は大きく広がって成長します。その寿命の長さから、記念樹として植えられることも多くあります。先史時代から中世までは、スラブ民族やドイツ民族はオークを神聖な木として崇拝していました。19 世紀半ばになってオーストリア・ハンガリー帝国諸邦であったスラブ系諸国ではボダイジュが国樹とされました。20 世紀にはチェコスロバキアの国樹となり、分離後もチェコ共和国の国樹となりました。

ボダイジュの木はとても軽く柔らかいため、木彫りに適しています。また、6 月後半に開花する花は、ミツバチの重要な花粉源であるほか、伝統的な薬として使われています。果実は秋に熟します。ドライナツツのような形状で、非常に薄く簡単に割ることができます。一方で、ナツボダイジュの実は硬く、割れづらいのが特徴です。

種子には休眠に入る特性があります。種子の休眠とは、播種前の処理（成層化）が行われるまで、発芽能力のある種子が発芽しない状態です。これは、種子が熟した後、秋に時期の早い発芽をしてしまうことを防ぐために温帯植生帯の多くの植物が持つ自然特性です。自然界では、土の表面に落ちたり落ち葉と混ざったり、時には雪の下敷きになることで自然成層が行われ、種子は秋には発芽せず春にだけ発芽します。

ボダイジュの場合、通常この休眠状態から戻すために、播種前に二段階の温度処理を行う必要があります。初めに、種子を約 20℃の室温で少なくとも 1 ヶ月間、可能であれば 60～90 日間保存してください。この段階で種子は温め

Česká centra

Václavské nám. 816/49, 110 00 Praha 1

T: +420 234 668 211, F: +420 234 668 215

E: info@czech.cz, <http://www.czechcentres.cz>

られ、胚が成熟します。この後、発芽を阻害する化学物質を取り除くために種子を冷やす段階に入ります。種子が自然に発芽するまでの数ヶ月間（120～180日）、凍らない程度の低温（約2～5℃）で保存してください。種子が自然に発芽したら、土に播いてください。これらの段階では適切な湿度を保つことが重要となります。種子は水に浸からせたり濡れたりしない程度に湿らせてください。ボダイジュの種子は、成層化前は完全乾燥に耐えられますが、成層後は乾燥にとっても敏感になります。少しでも乾燥してしまうと、成層化が止まってしまったり、再生不可能な損傷を与える原因になってしまいます。

若木の最初の2枚の葉は子葉と呼ばれ、成長した木につく葉とはかなり形が異なります。通常の葉はハート型（索状）ですが、子葉は指のある手のひらのような形をしています。播種前の処理を十分に行ったとしても、ボダイジュの種の発芽率は大抵30%を超えません。

《播種前処理について》

ボダイジュの種子は通常、休眠状態から戻すための特別な播種前処理を行わないと発芽しません。2段階の温度処理が必要です。

ステップ1. 温かな場所に置く

種子は約20℃の室温で少なくとも1ヶ月、可能であれば60～90日間保存してください。その間、種子を水に浸かたり濡れたりしない程度に湿らせ、適切な湿度を保ってください。砂や無肥料の泥炭などと混ぜ、直射日光が当たらず、風通しのよい場所（カビ予防）に置いてください。3～5日に1回程度の頻度で、砂や泥炭の状態を確認し、必要であれば水を加え、空気を含ませるようにほぐしてください。カビが発生した場合は、市販の殺菌剤を使用しても問題ありません。種を入れた容器は、通気性のある布で覆っても構いませんが、空気の通らないビニールで覆わないようにしてください。

ステップ2. 冷たい場所に移す

種子を冷蔵庫に移し、一部が自然に発芽するまで数か月間（120～180日）保存してください。温度は約2～5℃の範囲を保ってください。この間も10日に1回程度の頻度で、砂や泥炭の状態を確認し、必要であれば水を加えて、空気を含ませるようにほぐしてください。ビニール袋に入れ替えても問題ありませんが、その場合は密閉せずに半開きのままにしておいてください。

種が発芽し始めたら、湿らせた砂や泥炭、土などに蒔き、一般的な観葉植物と同じように室温で育ててください。数週間後、子葉が落ち、通常の葉に変わってきた頃から、徐々に人工肥料を使用することをお勧めします。

詩の感想や種の発育の様子など、ぜひSNSでハッシュタグ投稿をお願いします！

#RobotPoet

チェコセンター東京

150-0012 渋谷区広尾 2-16-14 チェコ共和国大使館内

TEL 03-3400-8129 cctokyo@czech.cz

<http://tokyo.czechcentres.cz/jp/>

●チェコセンターは3大陸26都市においてチェコ文化の普及につとめている、チェコ外務省の外郭団体です。

Česká centra

Václavské nám. 816/49, 110 00 Praha 1

T: +420 234 668 211, F: +420 234 668 215

E: info@czech.cz, <http://www.czechcentres.cz>